

復興道路の早期完成に向けた体制強化について
～全国の地方整備局から、長期派遣職員が着任～

東日本大震災からの早期復興のリーディングプロジェクトとなる復興道路(三陸沿岸道路等)については、今般の第3次補正予算において全線を事業化することが決定されました。

復興道路は、地域からも早期完成が強く求められておりますが、これまでに経験したことのない新規事業化224km(内三陸国道事務所担当延長概ね161km)、事業中区间も含む概算事業費約1兆4千億円の未曾有の大規模プロジェクトであり、事業促進に際しては、様々な課題を克服していくことが必要となります。

今般の第3次補正により、三陸沿岸道路などの復興道路・復興支援道路の緊急整備として事業費930億円(内三陸国道事務所分として514億円)を活用し、本格的な復興がスタートすることから、12月1日より全国の地方整備局から職員を長期派遣し、体制強化を図りました。

三陸国道事務所には、高速道路整備の豊富な経験を持つ29名の職員が長期派遣され、今般「復興道路プロジェクトチーム」を結成し、事業のスタートダッシュと一日も早い完成を目指して参ります。

そこで、長期派遣職員の着任式を下記内容で行うこととしましたのでお知らせします。

1. 日 時：平成23年12月8日(木) 午前10時～
2. 式会場：三陸国道事務所 会議室
岩手県宮古市藤の川4番1号 (〒027-0029)

【発表記者会】岩手県政記者クラブ、久慈報道機関各社、宮古記者クラブ、釜石記者クラブ、大船渡記者クラブ、東北専門記者会

【問い合わせ先】

国土交通省 三陸国道事務所

岩手県宮古市藤の川4番1号 (〒027-0029)

(代表) TEL : 0193-62-1711

(副所長) み か た 三ヶ田 あきら 章

三陸国道事務所管内 改築事業箇所位置図

